

ベトナム フエ医科薬科大学での内視鏡指導後の内視鏡検査患者数推移

②患者数の推移

今回の内視鏡指導においては、ベトナム報道機関も興味を示しており、医師派遣時にはかならず現地メディア（VTV、新聞局等）が取材に訪れた。内視鏡センター及び日本式内視鏡診療トレーニングの内容や経鼻内視鏡等、苦痛が少ない最先端の内視鏡技術による患者にとってのメリットなどが重点的に報道されてきた。その結果以前まではフエ市中心であった患者層が300kmほど離れたハノイとの中間地域やラオス国境沿いなど、ほぼ中部ベトナム全域から患者が受診することが珍しくなくなってきた。一部の検査ではわざわざハノイやホーチミンより精査に訪れる患者がいた。

その中で患者数は下表の通り推移した。多くの患者を検査する事で、現地内視鏡医のスキルアップに繋がったと考えられる。加えて、経鼻内視鏡の訴求が極めて大きな効果をもたらし、今後、経鼻内視鏡システムの販売拡大が見込める事が判明した。

図表 2 1 : 患者数の推移

	2013年9月	2013年10月	2013年11月	2013年12月
胃内視鏡検査	251	451	568	489
経鼻内視鏡検査	30	115	137	163
大腸内視鏡検査	58	76	93	133
超音波内視鏡検査	2	5	8	15
ERCP	2	3	3	3
ポリペクトミー	2	5	4	10
計	345	655	813	813

出所) フエ医科薬科大学提供資料を基にコンソーシアム作成